

避難行動判定フロー

雨
に備える

「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、日ごろから地域の災害リスクや取るべき行動を確認し、緊急時に適切な避難行動を取ることができるようにしましょう。

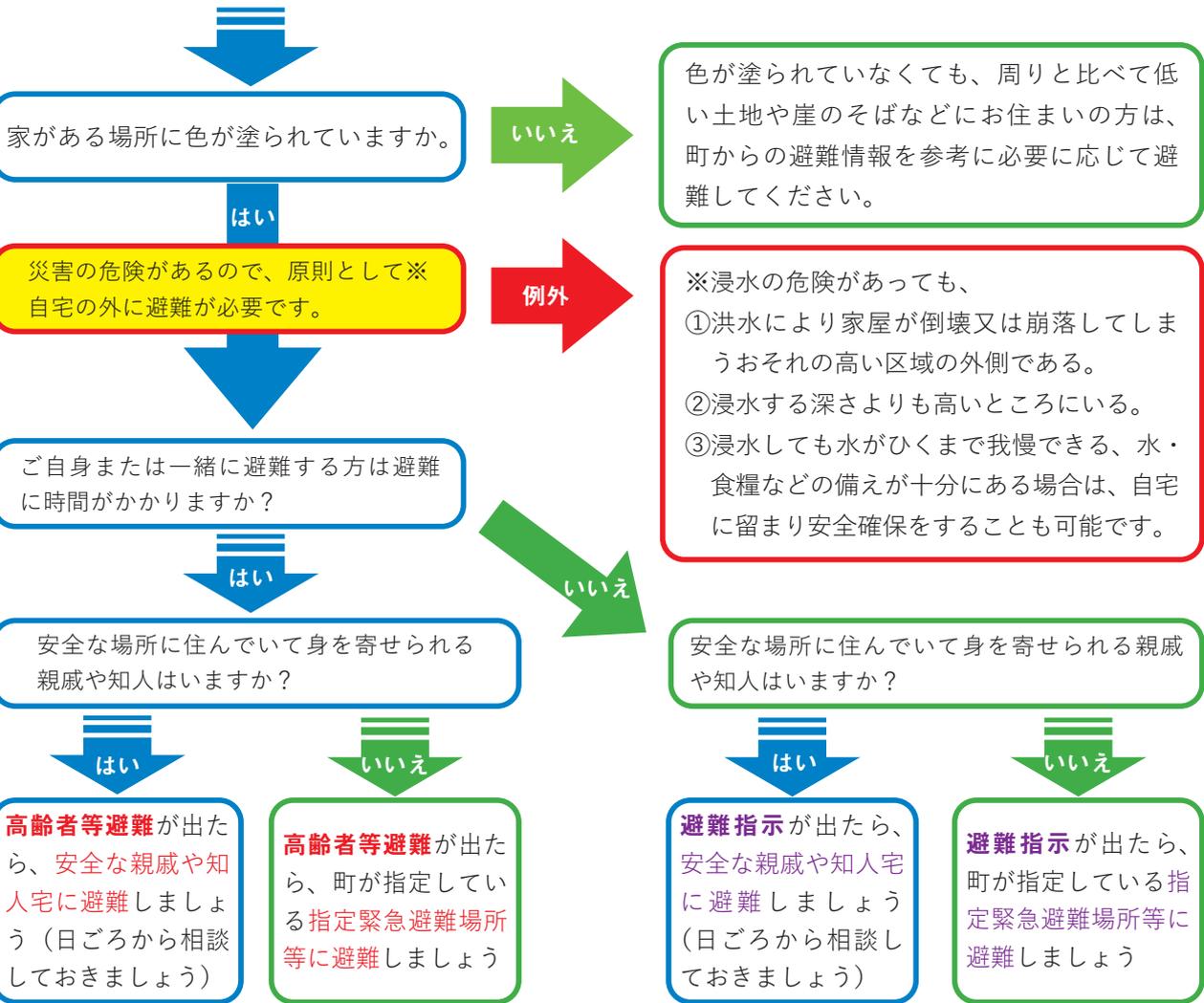
START

防災マップ（ハザードマップ）で自分の家がどこにあるのか確認し、印をつけてみましょう。



△重ねるハザードマップ
(国土地理院)

※防災マップ（ハザードマップ）は浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。



MBCウェザーセンター
気象予報士 住吉大輔

地球温暖化で雨の降り方が激しくなり、その傾向は続くと予想されています。「今まで大丈夫だった」は通用しない時代です。身近な危険を防災マップでしっかり確認しておきましょう。危険があれば早目の避難、危険がなくても停電などへの備えは大切です。最新情報入手する方法も確認しておきましょう。



雨
に詳しい
人に聞く

©MBC